

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第2回生野区区政会議 こどもの未来部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）
令和7年度生野区の実施（案）について 「生野区グローバルタウン物語」プロジェクトについて

ご意見・アドバイス等	委員名
生野区は自転車で移動することが習慣となっているので、外国の方に対し、自転車のマナーを教える場をもっと増やしていただきたい。日本語学校の生徒たちに、ちょっと学校側からも教えていただくように区役所から指導していただくとか。日本にもともと住んでおられる方も自転車のマナーが分からないのに、外国の方はもっと迷われてるんじゃないのかなと思う。	福田委員
外国人をサポートする団体等を支援するための基金を創設するのは、とてもいい取組だと思うし、ここにきちっと支援を入れていくというのが、生野区の今の状況としては本当に必要なものだと思う。ただ、外国人住民の支援にすぐ力を入れているということをPRするあまり、そうじゃない家庭への支援、私たちのことは見えてくれているのかというふうにならないか少し心配である。広報の仕方もあると思うが、そこを上手に取り込んでもらって、「支援については両方しています。その上で外国の方たちがこのまちで一緒に暮らしていける形にしているんです」という見せ方をしていただけるといいと思う。 AIの音声ツールにしても、翻訳にだけではなく、障害の方にも使っているというのをよりアピールしてもらいたいと思う。外国の人の対応が必須なのはもちろんみんな分かっているけれども、それだけでなく、プラスアルファ聴覚理解が弱いという方もいるし、聴覚障害の方もいて、高齢者の方もいる。どちらもきちんと目を向けて支援しているという形が見えるといい。外国人支援をしつつプラスアルファといったところを上手に踏み込んでもらいたい。	永裕委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第2回生野区区政会議 こどもの未来部会）

その他の主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
学校再編	再編後、学校として、こういうことを目指すんだとか、学校ごとの特色などがもしあれば教えていただきたい。 勝山が今適正配置の中で、こどもの通学路の安全について予算がついているということであるが、具体的にはどういうことをされているのか。	西村委員	再編を実施する際、生野未来学園はキャリア教育、大池小学校につきましては、英語教育、田島南小学校につきましては生きる教育に力を入れていくということで、再編後の学校については、それぞれでテーマを決めていただき、そこに力を入れて取り組んでいくということで現在も進めていただいているところです。 東桃谷小・勝山小の学校再編に向けては、検討会議の部会である通学路の安全対策専門部会において、安全対策の内容について意見をまとめているところであり、令和7年度において、グリーンライン塗装や交差点のニート舗装等の工事を行う予定としています。	地域まちづくり課
	学校が再編になれば、今までの小学校の運動スペースがだんだん少なくなるんじゃないかと思う。今まで1校でやっていたところが4校が集まって。生野未来学園の場合、校庭がものすごい狭くなって、校舎は足りないって工事ばかりやっている。また何年後かには勝山の半分が入ってくる。通学路の安全の確保もあまりできていないような気がする。	加藤委員	生野未来学園の工事につきましては、以前の区政会議でもご説明させていただきましたが、学級編成の基準が40人から35人に変ったことを受け、将来的な教室不足の見通しを踏まえて校舎の建設に入っているものです。なお、令和8年4月に実施する東桃谷小学校と勝山小学校の再編の中で、一部の児童が生野未来学園に就学されますが、その収容については教室は確保できる予定となっています。運動場の面積については、子どもの教育環境上必要な部分は確保しながら校舎の建設を進めているところです。 子どもの安全配慮につきましては、引き続き工事は来年度も続きますので、いただいたご意見も踏まえながら、工事業者、教育委員会などと連携して対応してまいりたいと考えております。	

主なご意見等と区の考え方、対応（令和6年度 第2回生野区区政会議 こどもの未来部会）

その他の主なご意見・ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
不登校の支援	永裕委員	教育支援センター桃谷は令和3年4月に開設され、学籍はもとの学校に置いたまま児童生徒・保護者が希望する場合通所することができます。 対象は、心理的な理由により不登校となっている児童生徒、学習意欲がある児童生徒（自学自習ができる児童生徒）、一人で通所できる児童生徒など条件があります。 支援内容としては、不登校支援アドバイザー・スタッフ等・ICT端末の活用による学習支援、在籍校の学習進度や行事等の教育活動の連携やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーとの児童生徒・保護者の面談等があります。 不登校となっている児童生徒については、各学校では、まずは在籍している学校に早期に通常どおり通学できるように取り組み、個々の状況に応じて、適宜学校以外の登校先の選択肢を説明してありますが、あらためて不登校児童生徒のご家庭への丁寧な情報提供について各学校に再度周知してまいります。	地域まちづくり課
妊産期の母子支援事業（新規）について	助産師をどれぐらい配置して、どういう伴走をするかということ、もうちょっと具体的に教えてほしい。	安委員	保健福祉課
	この部会でも何回か私も意見として挙げさせていただいたが、これを新しい事業として立ち上げていただけるのはすごい迅速な対応で、とてもすばらしいと思う。安委員もおっしゃったように、もう少し具体が知りたいというのは正直なところなので、詳細が出てくるとすれば、それはいつ頃になったら分かるのか、めども教えていただけるととてもありがたい。	永裕委員	
	子育てが難しい時代になっているかと思うので、今この時代にこどもを産み育てていこうというお母さんたちを応援するためにも、ぜひ助産師さん、あるいは保健師さんをもっと増やしていただきたい。	西村委員	